

令和6年度入学式学長告辞

九州工業大学 学長 二谷 康範



新入生の皆さん、また、ご家族・ご親族の皆さま、ご入学おめでとうございます。春爛漫の今日、九州工業大学に皆さんを迎え、こうして盛大に入学式を挙行できますことは、教職員並びに在学生一同そして本学に関わる多くの人々にとってこの上ない喜びであります。新入生の皆さんはもちろん、新入生の皆さんを支えてこられたご家族・ご親族の皆さまも、たいへんお喜びのことと存じます。本日は、九州工業大学を代表して、私からお祝いの言葉を申し述べさせていただきます。

3年ほどの間、新型コロナウイルス感染症に翻弄され続けてきた状態

から復帰してようやく日常を取り戻しました。コロナ禍ではあらゆる物事が止まってしまったのではとの錯覚に陥りましたが、世の中は大変な勢いに変化していることに驚きを持つとともに、人類の逞しさに改めて感嘆しています。特に、デジタルトランスフォーメーションやグリーン

トランスフォーメーションの分野を起点に様々な技術が発展を見せています。皆さんの学びの場においても、デジタル機器を用いることは当たり前で、生成AIの登場によって、大量のデータに基づく知識を容易に得られる時代が到来していることはご存じの通りです。世界の動きはともなうダイナミックで、日本もその荒波の最中さなかにあります。皆さんが来られたこの北部九州の地は歴史的にも地理的にも科学技術を進展させる観点においてとても恵まれた環境にあると考えています。

本学は、1909年に開学した私

立明治専門学校を前身としています。明治専門学校は、安川敬一郎氏の私的な投資によって、日本を支える技術者養成のために戸畑地区に設立されました。安川敬一郎氏は、1901年に運用を開始した官営八幡製鐵所へ供給するための石炭の採掘ビジネスを飯塚キャンパスがある筑豊において展開し、数々の関連企業の設立に関わった人物です。

こうして設立された明治専門学校では、開学時に、初代総裁の山川健次郎氏によって建学の精神である「技術に堪能なる士君子」の養成という理念が掲げられました。「士君子」とは、学問、人格ともにすぐれた立派な人を意味します。開学以来、この建学の理念、つまり技術に精通した知性と教養が溢れるエンジニアの養成と新技術の創出を念頭に教育を行い、後に私立から官立、そして国立九州工業大学へと移行する中でも、理念を脈々と引き継いで、教育、社会貢献の内容を充実させてまいりました。少し先の未来でさえ予測できない不確実な現代社会において活躍できる技術者は倫理観やビジネスマインド、グローバルマイン

ドなどの教養を併せ持った人材でなければならぬことが再認識され、そのような人材育成が社会から強く要請されています。その意味で、現代社会でも全く古びることのない「技術に堪能なる士君子」の理念を115年も前に提唱した安川敬一郎氏、山川健次郎氏の先見性は驚嘆に値すると言えます。

また、ビッグデータや昨今話題の生成系AIなど情報技術の発展にともないデータサイエンス分野の人材が社会から求められていることは皆さんご承知の通りですが、特に炭鉱閉山後の地域の振興を目的に今から38年前にできた飯塚キャンパスが、賞賛すべき先見の明をもって日本初の情報工学部として誕生しました。現在本学は、明治専門学校設立の地である戸畑キャンパスに本部を置き、かつて石炭供給地であった飯塚、石炭の積み出し港として栄えた若松にそれぞれキャンパスを置いて歴史をアップデートしながら、技術が集積した地域と共に発展しています。こうして、これまでに延べ7万人を超える技術に精通した知性溢れるエンジニアを育成しており、卒業生は産業界を中心に日本はもとより世界を

舞台に活躍しています。

昨今の生成AIの登場で人の仕事がAIに奪われるのではという危惧が話題に上っていることはご存じかと思います。皆さんはこれからの本学での学びにおいて、ただ単に知識を習得するだけでは当然AIには負けてしまいます。したがって、常に好奇心を持ってクリティカルシンキングの姿勢で物事に対峙することが重要だと言われています。クリティカルシンキングは日本語では批判的思考と訳されているため、少し誤った意味で理解している方もいるかもしれません。英語のクリティカル語源は「ふるいにかける」「識別する」との意味があります。情報をそのまま鵜呑みするのではなく、それが正しいかどうかをふるいにかけるという考え方が、クリティカルシンキングの基本です。

本学では、次世代通信規格制定のためのビヨンド5G環境やスタートアップなど様々なプレイヤーが集まる共創空間を持つ多様性あふれる「未来の技術に出会うキャンパス」が構築されています。これから皆さんがこの地で体験する様々なことに対して偶然の出会いを大切に

するとともに、多くのことに興味を持ちながらも、それらがもたらす情報が正しいかどうかをよく考えて確認する習慣を身につければ、AIに負けない人材として成長できると確信しています。技術と人の出会いが思いがけない幸運をもたらし、イノベーション創出の源泉となり、今ある最先端技術を持つてもできないことを皆さんが可能にします。この恵まれた環境の中で、好奇心を持って色々なことにチャレンジし、客観的な視点で物事を分析し、問題を解決する力を養ってください。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症はインフルエンザと同様の感染リスクを残しており、ゼロリスクではありません。入学された皆さんが、生活の中でリスクを上手にコントロールして、かけがえのない日々の暮らしや人の命の尊さについて考え、自らの健康に十分留意され、友人との交流と学びを楽しみ、意義あるキャンパスライフを堪能されますことを心から希望し、告辞いたします。本日は誠におめでとうございます。